

図2 宮城県沖付近で起きた M7 以上の地震のすべり分布. コンター間隔は 0.3m.

# DD法による2005年宮城県沖、1978年宮城県沖地震の本震・余震分布とすべり量分布

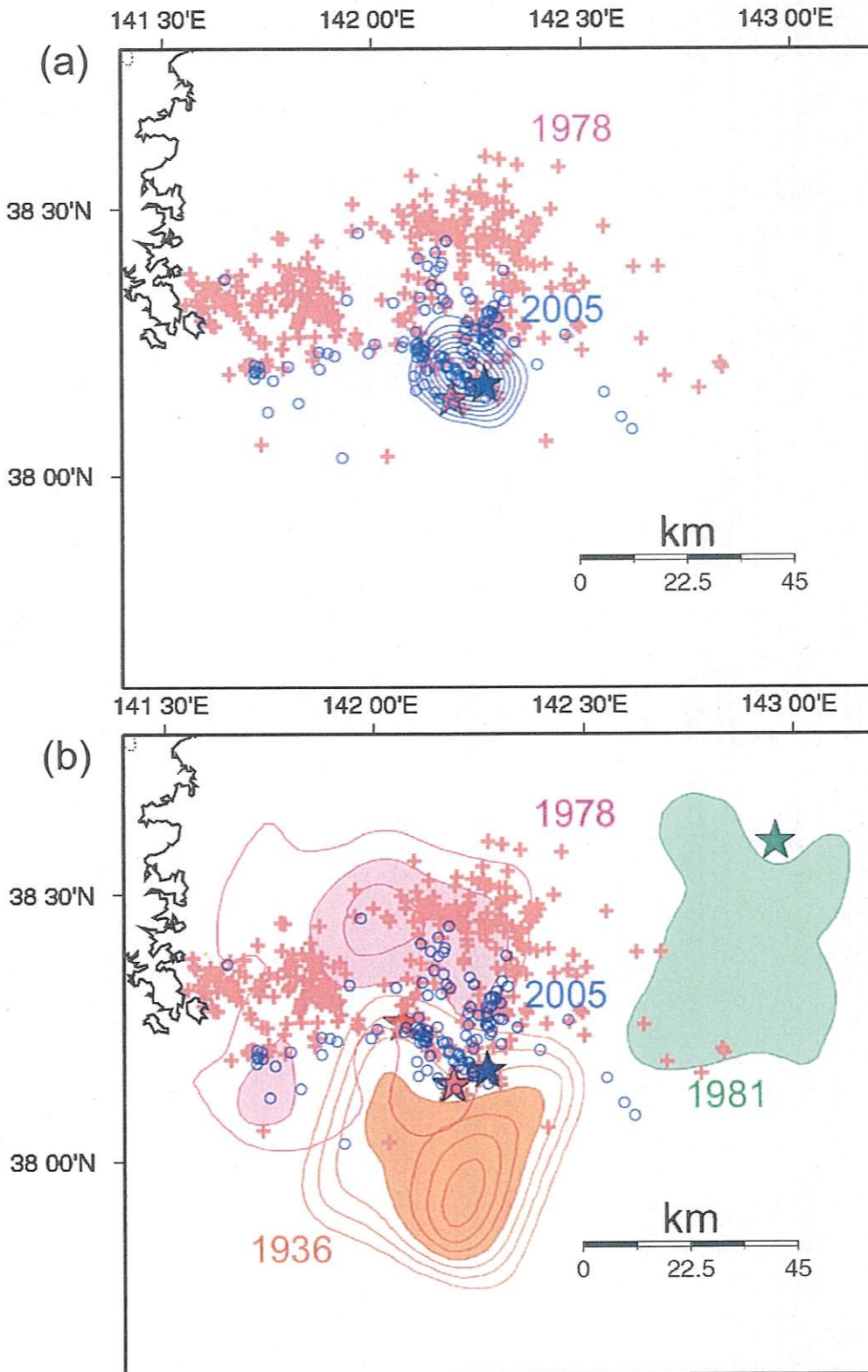


Fig. 3 DD法 (Waldhauser & Ellsworth, 2000) により求めた、1978年宮城県沖地震と2005年宮城県沖の地震の本震・余震分布. ともに地震後2日間の余震を示す. 青丸が2005年, 赤十字が1978年を示す.  
 (a) Yagi et al. (2005) の手法により, 遠地地震波形から求めた2005年宮城県沖の地震のすべり量分布と合わせて示す. (コンター一間隔0.15m)  
 (b) Yamanaka & Kikuchi (2004) のアスペリティと合わせて示す. ただし, 1978年のアスペリティの位置は再決定した本震位置にあわせて並行移動している.